

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	823 つくば市教育相談センター維持管理事業					
予算科目	01-100102-17	つくば市教育相談センター運営に要す			担当部課	教育局教育相談センター
市長公約					係名	
戦略プラン					新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画					事業期間	毎年度
根拠法令等	つくば市教育相談センター条例				SDGs	04質の高い教育をみんなに

事業の概要

対象	教育相談センターの来所者全般
目的	利用者が快適な環境のもとで安心して相談や活動ができるようにする。
概要 (取組内容)	施設の補修及び維持管理 清掃や警備委託等 必要となる備品等の購入、管理、借用

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	4,576	4,821	4,378	4,378	4,378	
	決算額	(千円)	4,504	4,700	4,028	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	4,503	4,699	4,027	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	1	1	1	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,770	4,811	4,804	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.70	0.70	0.70	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	4.00	11.00	15.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	館内の給水配管、網戸や蛇口、窓枠コーキング修繕を実施し、館内清掃や中庭植栽を適宜実施した。	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・週2回の館内清掃、年3回のワックスがけ、年1回の窓・カーペット清掃で清潔な環境を維持した。 ・年1回高木を含む中庭の植栽管理を行い景観を維持した。 ・適宜、劣化が激しい箇所の修繕を実施し、活動場所の維持管理を図った。 	
課題	業務	施設全体が老朽化が激しい。施設面積が小さいため、部屋や駐車場に限りがあり、今後受入人数を増やすことは難しくなる。代替場所がない。
	組織、予算等	立地についても不便という要望がある。建物も築45年以上経過しており、使用し続ける場合は大規模修繕は必須となる。正職員で兼務職員の所長及び指導主事は異動が激しく、支障が大きい。
改善目標	施設老朽化に備えた修繕を実施する。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	施設の老朽化が激しい一方で、利用希望者が増加している。

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	818 教育相談事業					
予算科目	01-100102-17 つくば市教育相談センター運営に要す			担当部課	教育局教育相談センター	
市長公約	32			係名		
戦略プラン	Ⅲ-2	1	2	児童・生徒に寄り添う教育の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画					事業期間	毎年度
根拠法令等	つくば教育相談センター条例、つくば市教育相談センター条例施行規則				SDGs	04質の高い教育をみんなに

事業の概要

対象	つくば市内居住の小・中・義務教育学校の児童生徒及び幼稚園児やその保護者、学校の教職員など
目的	社会的自立の援助や教育機会を確保、教育上の諸問題に対する解決の方向性を示し、事態の拡大や深刻化を未然に防止する
概要 (取組内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内在住の幼稚園児や小中義務教育学校児童生徒及びその保護者や教職員を対象に電話及び面接相談を実施する。 ・希望する児童生徒に「つくしの広場」による支援を行う。 ・学校生活相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを学校に配置し、児童生徒及び保護者への悩み相談、環境改善や関係機関との連携を通して、問題の解決を目指す。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	17,974	17,763	31,568	64,474	82,042	
	決算額	(千円)	17,954	17,769	31,411	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	17,642	17,769	17,587	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	312	0	13,824	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,480	5,516	5,485	5,485	5,485	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
		正職員時間外勤務	(時間)	16.00	20.00	15.00	15.00	15.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	延べ相談件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,700.0	1,700.0	1,700.0	1,700.0	2,000.0	2,000.0
	実績	2,092.0	2,425.0	2,868.0	3,108.0	0.0	0.0
	指標の概要	(個別施策Ⅲ-2-①個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む学校教育の創出) 電話相談及び面接相談の実施回数					

2	指標名	適応指導教室利用者総出席日数 (日)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	550.0	550.0	550.0	550.0	650.0	650.0
	実績	783.0	765.0	671.0	915.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	学校生活相談員総活動時間 (時間)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	7,200.0	7,200.0	7,200.0	7,200.0	7,650.0	8,100.0
	実績	7,113.0	7,088.0	7,063.0	6,860.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	市費スクールソーシャルワーカー総活動時間 (時間)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,086.0	2,172.0	2,172.0	4,368.0	9,282.0	9,828.0
	実績	1,120.0	2,209.0	2,270.0	4,452.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	市費スクールカウンセラー総活動時間 (時間)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	536.0	536.0	536.0	1,764.0	4,788.0	7,812.0
	実績	529.0	538.0	535.0	1,767.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	広く早期に公募することでスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを計画通り配置することができた。
成果	新型コロナウイルスの影響が少なくなり、面接相談は300件、電話相談は100件、つくしの広場の延べ出席日数は200日以上の増加となった。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、学校生活相談員も計画どおりの配置ができた。
課題	<p>業務</p> <p>相談件数や入級希望者の増加と悩みの多様化への対応が必要である。スクールソーシャルワーカーは市町村等での独自雇用が進んでおり経験がある人員確保が非常に困難な状況にある。</p> <p>組織、予算等</p> <p>相談業務全体が会計年度任用職員など正職員以外の人員に依存しており、安定した継続的支援と市としてのノウハウの蓄積に課題を抱える。正職員要望を多年にわたり要望しているが、実現していない。</p>
改善目標	専門職の正職員配置することで、安定的かつ統括的で効果の高い教育相談業務を推進する。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	不登校児童生徒や悩み相談の増加に対応し、様々なアプローチで支援する必要がある。